

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	「利用者一人ひとりの自己実現」という理念を根底にもち、利用者の心情や状況を細やかに把握し、個別を尊重した対応に努めています
	内容	理念に「一人ひとりの自己実現」と掲げているように、職員オリエンテーション資料やサービス提供の考え方・期待する職員像などそここに「一人ひとり」の文字があります。利用者には有意義で価値のある人生を送る権利があり、個別尊重の対応が明確です。日常生活においても、利用者の「～したい」という心情を尊重し、可能な限り実現に向けて対応しています。ヒヤリハット記録には事業所全体の事柄はもちろんですが、利用者の更なる理解を重視しているとも受け取れるほど、利用者の言動について分析し、その後の個別の対応に活かしています。
2	タイトル	利用者にとっての「我が家」であり、心の拠り所となる場所として将来にわたってホームでの暮らしが継続できるように支援しています
	内容	みらいホームでは、ここは入居者にとって、生活の基盤となる場所であり「心の拠り所」となることを支援方針に掲げています。現在は自宅とホームを行き来する入居者もいますが、親の高齢化などにより、将来的にはグループホームが入居者にとっての「我が家」となることを考え、今後の支援体制を整えたいとしています。「リビングでくつろげるよう飾り付けをしている」、「健康を維持できる食事を提供している」、「清潔に保たれている」といった職員の声から、現状でも居心地のよい空間をつくり、暮らしの環境づくりに取り組んでいます。
3	タイトル	支援度の高い入居者でも、さまざまな機関と連携し地域の一員として暮らすことができるよう、入居者の生活の基盤を整えています
	内容	身体的な介助が必要である、言語によるコミュニケーションが難しいなど、特に支援度の高い入居者については、家族のほか、地域のさまざまな機関から情報を入手し、その対応方法について検討し、自立した生活ができるよう支援にあたっています。当法人は、通所事業、相談、就労支援事業などの多様な事業を展開しています。このため、地域において幅広いネットワークを築いていることが強みとなっており、入居者の自立した生活を支えています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	事業所の職員全員が認識を一にした支援を提供できることが期待されます
	内容	理念実現に向けて、利用者一人ひとりの理解と細やかな支援に日々努めていますが、利用者支援について、些少ですが職員個々により対応が異なることが見受けられます。シフト制勤務であり、職員全員が常に顔を合わせられる職場ではないので無理はないのですが、だからこそサービス提供について職員全体の共通認識が必須となります。障害の理解やその特性の理解、また、個別の支援方針の共有により、支援の統一化が望まれます。
2	タイトル	利用者一人ひとりの支援はそれぞれ確立されていますが、業務全般に関する業務の標準化への取り組みが期待されます
	内容	現在、約40名の職員が在籍しており、勤務シフトにより個々で働く時間が多いことや、各ユニットに配属されている主たる職員の経験年数が浅いユニットもあり、職員個々の判断により支援を行っているケースが見受けられるようです。5ユニットあるホームのうち、それぞれのホームのルールで凝り固まることのないように職員は2ユニットの業務につくこともあり、入居者への日常の支援は丁寧に行われているようです。しかし、組織として支援方針の共有や支援のノウハウの構築は確立されていないようですので、業務の標準化への取り組みが期待されます。
3	タイトル	職員間の情報共有を深めるためにも、業務の標準化や記録の取り方の工夫などへの取り組みが期待されます
	内容	職員はときには1人で支援することもあり、入居者への対応について瞬時に判断がつかないこともあるかと思われます。そのようなときに重要となるのは支援などの申し送り事項です。ホームでも記録のつけ方について職員とも情報交換を重ねています。しかし、全職員には浸透されておらず、入居者に関する必要な情報が共有されていない場合もあるようです。必要な記録、不要な記録を継続して伝えるとともに記録をとることの大切さについて繰り返し説明をし、職員全員が共通認識を持つための取り組みが期待されます。